

『千葉観光課 マスコットキャラ』

登場人物

田宮 (Tamiya) (20代): 千葉県の外国人向けの観光課に働く青年。受け身な性格でよく物事を頼まれる体質。だが、突飛な閃きを思い付くと意気揚々とする。

ボブ (Bob) (30代): 観光課のアドバイザーとして雇われた米国人。明快な性格で何事にも乗り気。田宮と仲良く絡む。「面白ければそれでよし！」を信条にしている。

その他の外国人観光客 (モブキャラ).
あらすじ

千葉県には「ちはなちゃん」というマスコットキャラがいる。愛嬌はあるが、どうもインパクトが薄い。県からの依頼で、新しいマスコットキャラを作ることになった。田宮は「一から新しく作るのではなく、デザインを変えよう」と提案。ボブは「ならばいっそ、メカニックにしてみよう」と提案。果たして、「ちはなちゃん」はどう変わるのか？そして、外国人観

光客にウケるのか？

シーンⅠ：観光課のオフィス

SE：オフィスの雑音。キーボードのタイピング音。電話の鳴る音。

田宮：（ため息をつきながら）また新しい仕事か……。今回は「ちはなちゃん」をリニューアルしろって、難しいな。

ボブ：（元気に）田宮さん、おはよう！今日は何か面白いことがある？

田宮：ボブさん、おはよう。実は、ちはなちゃんの新デザインを変えるように言われてるんだけど、どうすればいいか全然わからなくて。

ボブ：うーん、それは面白そうだね！新しいキャラを作るのもいいけど、リニューアルつても悪くない。どう変えたい？

田宮：（考え込んで）そうだなあ……。一から作るのは時間がかかりそうだし、デザインを変える方が現実的かも。でも、どう変えればいいのか……。

ボブ：（にっこり）ならば、メカニックにしてみるのはどう？ ロボットのちはなちゃんなんてどう？

田宮：（驚いて）ロボット！？ そんなの受け入れてもらえるのかな……。

シーン 2: デザイン会議

SE: ホワイトボードにマーカーで書く音。紙をめくる音。

田宮： さて、ボブさんのアイデアを元にデザインを考えてみました。これがロボット版のちはなちゃんです。

ボブ…(興奮して)おお！すごいじゃないか！
これなら注目間違いなしだよ！

田宮…うん、そうだといいいんだけど。ところで、これはどうかな？少し未来的な感じにしてみたんだ。

ボブ…いいね！でも、もっと派手にしよう！
ライトアップとか、動くギミックをつけるとか！

田宮…(笑って)ボブさん、本当に面白いことが好きだね。でも、確かに目立つことは大事だ。

シーン 3: 発表会

SE: 司会者の声、カメラのシャッター音、
人々のざわめき。

司会者…皆さん、お待たせしました！新しい
「ちはなちゃん」のお披露目です！

SE: ドラムロール。幕が上がる音。

田宮…(緊張して) どうだろう…受け入れても
らえるかな。

ボブ…(肩を叩いて) 大丈夫、大丈夫！自信を
持って！

観客 1…(驚いて) おお！これはすごい！ロボ
ットのちはなちゃんだ！

観客 2…(笑いながら) 面白いね！写真を撮っ
て SNS に上げよう！

シーン 4: 外国人観光客の反応

SE: 観光地の雑音。外国語が飛び交う。

外国人観光客 1: (英語で) Look at that! A
robot mascot! That's so cool!

外国人観光客 2: (英語で) Yeah, let's take a
picture with it!

田宮: (ほっとして) 良かった…受け入れても
らえたみたいだ。

ボブ: (にっこり) だから言ったでしょ? 面白
ければそれでいいんだよ!

田宮: (笑って) 本当にそうだね。ありがとう、
ボブさん。

シーン 5: エンディング

SE: オフィスの雑音。

田宮: (元気に) 次はどんな面白いことをしよ
うか!

ボブ…(笑いながら) そうだね！ 次のアイデアも考えなきや！

ナレーション… こうして、田宮とボブのコンビは次々と新しいアイデアで千葉県の観光を盛り上げていくのでした。果たして、次はどんな面白いことが待っているのか…それはまた別のお話。

SE: 明るい音楽がフェードインし、フェードアウト。